



四国がんセンター
泌尿器科



私たち医療スタッフは

- I. 化学療法に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようにお手伝いします
- II. 治療後の苦痛や副作用を最小限にし、順調に回復され安心して退院を迎えられるようにお手伝いします



IC 単独療法（泌尿器科）

ニボルマブ（オプジーボ）療法を
受けられる方へ

さま

主治医

受け持ち看護師

2025年4月3日 作成
2026年8月21日 改訂

ニボルマブ（オプジーボ）療法のスケジュール

1 コース（14日間）

入院
日

治療
1日目

治療
2日目

治療
3日目

治療
4日目

治療
5日目

治療
6日目

ニボルマブ
（オプジーボ）



約30分の点滴です

- 抗がん剤を投与したときに、過敏反応が起こることがあります
過敏症状がでたら、早めに点滴を止めることが大切です
- 息が苦しい、胸がドキドキする、吐き気など気分が悪いときは
我慢をしないで、すぐに医療スタッフにお知らせください



治療前の歯科受診について

- ◆治療時に起こる口のトラブルを予防し治療が円滑に進むように治療開始前の
歯科診察を行っています
- ◆治療前の歯科受診では、以下を行います
 - レントゲン検査・診察（口腔内の状態を診る）
 - 歯ブラシだけではとれない細菌の除去
 - 適切なセルフケア（歯磨き、うがい）指導
- ◆通常1～2回の受診で終わることができます

口の中はとても細菌の多い場所です

治療中や治療後にその細菌が悪影響を及ぼすことがあります
特に、治療後の口内炎・肺炎等を防ぐには治療前から口の中を
きれいにし細菌をできるだけ減らしておくことが有効です



排便について

普段からご自身の便の性状を確認し、入院中に排便調整の目安や方法を医療スタッフと一緒に確認しておきましょう

排便回数が4回以上増えたとき、下記の表の6（泥状便）～7（水様便）の排便が続くとき、周期的に腹痛があるときはすぐに医療スタッフに伝えましょう

3日以上排便がない、いきまないと便が出ない、便は毎日出ているがすっきりしない腹部膨満感などの症状があるときは、排便回数や性状によって緩下剤を使用します

※排便の状況や下痢・便秘の辛さは人によって違います

※排便のコントロールが難しい場合は看護師と解決方法を相談しましょう

便の性状について（ブリストルスケール）

ブリストルスケールは、便のタイプ（硬さ）を7種類に分類した世界共通の尺度です
自分の便のタイプを知り、排便調整の参考にしましょう

1	コロコロ便		硬くてコロコロの 兔糞状の便
2	硬い便		ソーセージ状であるが 硬い便
3	やや硬い便		表面にひび割れのある ソーセージ状の便
4	普通便		表面がなめらかで柔らかい ソーセージ状、あるいは 蛇のようなとぐろを巻く便
5	やや軟らかい便		はっきりとしたしわのある 柔らかい半分固形の便
6	泥状便		境界がほぐれて、ふにゃふにゃの不定形の薄片便 泥状の便
7	水様便		水様で、固形物を含まない 液体状の便

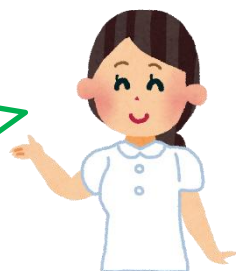
入院中の生活の注意点

- ◆治療中は免疫力低下のため、感染リスクが高くなります
マスクの着用、手洗い・うがいをしましょう
入院中、手洗いの動画をテレビの無料チャンネルで視聴できます
- ◆口の中は清潔にするよう心がけましょう
- ◆排泄を促すために水分をしっかりととりましょう
- ◆膀胱に尿が溜まったままの状態は、腎臓や膀胱に負担がかかり炎症を起こすことがあります
尿意を感じたら、我慢をしないでトイレに行きましょう
- ◆排尿時に痛みや残尿感がある場合には看護師にお伝えください
- ◆正しく安全に点滴を投与するために輸液ポンプを使用します
 - ・点滴が入っている部位を曲げたり、ねじったり、また、点滴チューブをひっぱったりしないようにしてください
 - ・歩行時は、点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります
点滴台は、支えにしないようにしましょう



こんなときは看護師にお知らせください

- ＊輸液ポンプを使用しているときに機器のアラーム音が鳴ったとき
- ＊点滴が入っている部位に違和感や痛みを感じたり、腫れてきたとき



- ◆抗がん剤治療開始から治療後2日間ほどは、尿や便などから抗がん剤が排出されます
尿や便に直接触れても健康に直接被害を及ぼすことはありませんが、できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう

- ・男性の方は飛び散り防止のため、座って排尿しましょう



- ・尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーできれいに拭き取りトイレに流しましょう
2度拭き取ると良いでしょう



- ・トイレの後、フタがある場合は、
フタをして水を2回流しましょう

- ・ナプキンや尿とりパッドを使用している場合は、看護師にお知らせください
 - ＊使用済みのナプキンや尿とりパッドは、ナイロン袋に入れて口を結びましょう
 - ＊トイレからナースコールを押して、看護師に渡しましょう

- ・トイレのあとは石けんなどでよく手を洗いましょう
- ・尿や吐いてしまったもので衣類が汚れた場合は、ほかの洗濯物と分けて洗濯しましょう

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるように患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院は約10日間の予定です

治療後の回復は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります、その都度対応していきますのでご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるように支援させていただきます



入院日 月 日



今日の日目標

- ・入院生活や治療について医療スタッフの説明が理解できる
- ・わからないことは質問することができる

<時間>	<予定>
11:00	入院 【入院後に以下のことを予定しています】 ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください） ・検温、血圧測定、身体測定
12:00	昼食 ・血液検査、尿検査、胸部レントゲン ・入院前の生活状況や身体状況の聞き取り ・初回治療のときは、管理栄養士より病院食や食事の工夫について説明があります 2回目以降、味覚障害や食欲不振等がある場合、栄養指導を希望される場合は、お知らせください 治療の流れや注意事項、副作用や対策について説明します 過敏症、点滴部位の痛み・血管痛について 「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照 「オプジーボを使用されている方へ」パンフレット参照 <お薬> 他の病院で処方された薬は、一度お預かりします 医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします <食事> 食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください 基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食になる場合があります
18:00	夕食
21:30	消灯 <睡眠> 眠れないときは安定剤を服用することができます

薬剤師から治療の流れや副作用の説明があります
オプジーボの注意点について詳しく記載された冊子をお渡しします
治療が開始したら、毎日治療日誌を記入しましょう



※2回目以降の入院の方は、治療日記を確認します

「オプジーボを使用されている方へ」P14～P25に記載されている症状（息苦しさ、下痢、皮膚の症状など）があるときは、看護師にお知らせください

医療スタッフの目標

- ・安心して治療が受けられるように支援します





今日の目標

- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる

<時間>

<予定>

水分をしっかりととりましょう
治療日誌を記入しましょう

6:00

起床
検温、血圧測定

7:30

体重測定
朝食

点滴中はトイレなどの歩行時に注意しましょう
点滴台を支援にして歩くと転倒する可能性があります
点滴台は支援にしないようにしましょう

10:00

治療前にトイレに行きましょう
点滴を始めます
※抗がん剤の投与前、開始5分後、終了時には、血圧、脈拍を測定します
• アレルギー症状の早期発見のために、オブジーボ投与前から終了まで、
心電図モニターを胸に装着します
点滴が終了したら針を抜きます

- 針の入っているところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときは
すぐにお知らせください
- 息が苦しい、胸がドキドキする、吐き気など気分が悪い、体がかゆい、
咳が出るときは、我慢をしないでお知らせください

12:00

昼食



フタをして水を
2回流しましょう

14:00

検温、血圧測定

体調に合わせてシャワー浴をしましょう

18:00

夕食

食事は、めん類やフルーツなどに変更もできます

19:00

検温、血圧測定

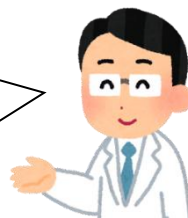
21:30

消灯

「オブジーボを使用されている方へ」に記載されている症状
（息苦しさ、下痢、皮膚の症状など）がでたときは、看護師に
お知らせください

医療スタッフの目標

- 抗がん剤点滴中や副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

水分をしっかりととりましょう
治療日誌を記入しましょう

7:30

体重測定
朝食

フタをして水を
2回流しましょう

10:00

検温、血圧測定

針の入っていたところが赤くなった、腫れている、痛みがある
ときはすぐにお知らせください

12:00

昼食

感染予防のために手洗い・うがいは
しっかりしましょう

シャワー浴をしましょう

18:00

夕食

食事は、めん類やフルーツなどに変更もできます

21:30

消灯

「オブジーボを使用されている方へ」に記載されている症状
(息苦しさ、下痢、皮膚の症状など)がでたときは、看護師に
お知らせください

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます
- ・抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

水分をしっかりととりましょう
治療日誌を記入しましょう

7:30

体重測定
朝食

血液検査（治療5日目）

10:00

検温、血圧測定

12:00

昼食

シャワー浴をしましょう

感染予防のために手洗い・うがいは
しっかりしましょう

18:00

夕食

食事は、めん類やフルーツなどに変更もできます

21:30

消灯

「オブジーボを使用されている方へ」に記載されている症状
（息苦しさ、下痢、皮膚の症状など）がでたときは、看護師に
お知らせください

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます
- ・退院の準備をすすめられるように支援します





今日の目標

- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる
- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる

<時間>

<予定>

6:00

起床

水分をしっかりととりましょう
治療日誌を記入しましょう

7:30

体重測定
朝食

10:00

検温、血圧測定

【次回外来で治療予定の方】
退院までに通院治療室の見学に行きます
「外来で抗がん剤点滴治療を受けられる方へ」ページ参照

12:00

昼食

シャワー浴をしましょう

【退院前日】
退院当日の流れと、退院後の日常生活の
注意点について看護師より説明があります



感染予防のために手洗い・うがいは
しっかりしましょう

18:00

夕食

食事は、めん類やフルーツなどに変更もできます

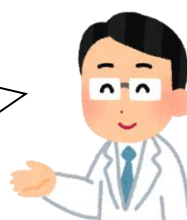
21:30

消灯

「オブジーボを使用されている方へ」に記載されている症状
(息苦しさ、下痢、皮膚の症状など)がでたときは、看護師に
お知らせください

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます
- ・退院の準備をすすめられるように支援します



退院日 月 日



今日の目標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる
- ・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

水分をしっかりととりましょう
治療日誌を記入しましょう

7:30

朝食

お預かりしている薬、退院の薬がある場合はお渡しします
次回外来予約票をお渡しします

10:00

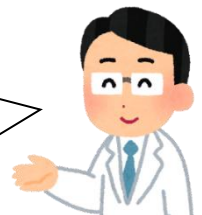
退院
退院前に忘れ物がないようご確認ください
「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので、
2階医事受付窓口でお支払ください

治療後、時間が経って出現する副作用もあります
「オプジーボを使用されている方へ」の副作用症状に
ついて再度確認し、次の治療に向けて体調を整えて
おきましょう



医療スタッフの目標

- ・退院後の日常生活に不安が残らないように支援します



外来で抗がん剤点滴治療を受けられる方へ

通院治療の流れ

① 受付



B受付

② 採血
中央処置室



☆採血時のお願い☆

採血時に注意することは退院前に確認しておきましょう
点滴予定の腕とは反対の腕で採血しましょう



採血結果が出るまで、
約30分～1時間かかります

③ 診察受付

A受付

B受付

C受付

S受付

呼吸器科
消化器科
緩和ケア
感染症腫瘍内科
骨軟部腫瘍・整形外科
禁煙外来

泌尿器科
血液腫瘍内科
原発不明がん診療科

④ 診察

乳腺外科
婦人科
形成外科
頭頸科・甲状腺腫瘍外科
歯科
病理診断科

消化器内科
糖尿病内科
内分泌内科
循環器内科
皮膚科
眼科
精神科
脳神経外科
リンパ浮腫
がんゲノム医療外来

治療決定

S受付

⑤ 治療
通院治療室

看護師が点滴の針を刺し、
確認後に抗がん剤を開始します

治療終了

検査や他の診療科で診察のある方は、各受付へ

検査の説明を受ける方は、予約センターへ

⑥ 会計

処方箋もすべてファイルに入れたまま総合受付 **6番窓口** に提出してください。

***お薬の処方がある方へ**

6番窓口で処方箋をお渡しします。4日以内にお薬をお受け取りください。

予約センターは
B受付の隣です



通院治療室での過ごし方

- 外来で初めて治療を受ける方は、説明と確認を行うため、少し時間がかかります。
- 入室時に、ベッドか椅子を選択できますが、混雑時にはご希望に添えないこともあります。
- テレビは無料で利用できます。ラジオや音楽プレイヤー等の持ち込みも可能です。ご利用される場合にはイヤホンをご用意ください。
- 携帯電話はマナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。
- 通院治療室内での飲食は可能ですが、においの強いものはご遠慮ください。飲食される方は、各自でご準備ください。
- トイレは通院治療室内のトイレをご使用ください。男女兼用ですが、3か所あります。
- 付き添いは原則ご遠慮いただいております。ご家族の待機場所として「暖だん」や「図書コーナー」などがあります。
- 副作用や日常生活で困っていることや相談したいことがあれば、いつでもスタッフに声をおかけください。



退院後の日常生活について

●食事

無理せず食べられるものを探し、食事はゆっくりと時間をかけたり、少量ずつ可能な範囲で食べるとよいでしょう
食事ごとに吐いてしまうときは、1～2食、食事は控えてみましょう
この場合も水分はできるだけとるようにしましょう



●排泄

毎日排便があるように、軽い運動や水分を多めにとりましょう
下痢のときは白湯やスポーツ飲料などにとりましょう
水分を控えると脱水症状を起こすことがあります
便秘気味の方は、緩下剤（便をゆるくする薬・押し出す薬）で排便コントロールをしましょう
退院までに医療スタッフと対処方法について相談しておきましょう
＊退院後、便秘が続き排ガスがない、下痢や吐き気、腹痛がある場合は、かかりつけ医または、四国がんセンターの医師の診察を受けるようにしましょう

●活動

無理をしない程度で体を動かしましょう
活動の内容や範囲に制限はありません
白血球が下がっているときは、なるべく人混みは避けましょう
外出時はマスクを着用して、帰宅時に手洗い・うがいをしましょう

活動について迷うことがあれば、医療スタッフにご相談ください



●清潔

入浴やシャワー浴をして体を清潔にしておきましょう
発熱時やだるさが強い場合は、入浴を控えタオルなどで拭くようにしましょう
歯磨き・うがいをし、口の中を清潔に保ちましょう
（歯ブラシは、小さく毛の柔らかいものを使用しましょう）

●仕事

社会復帰（特に重労働：荷物運びや長時間の立ち仕事、長期の旅行、スポーツ）については、医師と相談してください

これから先、安心して働き続けるためには
体の状態に合わせた休み方や働き方が必要に
なることもあります

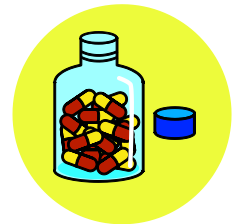
病院では、患者さんの「働きたい！」を
サポートしています

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください



●お薬

薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください
他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください



●治療日誌

退院後も、治療日誌は毎日記入しましょう

治療日誌は、次回受診時にお持ちください

「オブジーボを使用されている方へ」 P14～P25に記載されている症状
（息苦しさ、下痢、皮膚の症状など）があるときは、がん相談支援センターに
ご相談ください

●副作用確認シート

退院までに、「免疫チェックポイント阻害薬 副作用確認シート」をお渡しします
次回外来受診または入院時に、記入した副作用確認シートをお持ちください

記入方法は、次ページの記入例を参考にしましょう

●その他

虫歯、歯肉炎、義歯などの口腔内の不具合はないか確認しましょう

治療開始後、歯科治療が必要なときは歯科受診について、医師にご相談ください

インフルエンザ等の予防接種を希望される場合は、医師にご相談ください

免疫チェックポイント阻害薬 副作用確認シート

I D (診察券番号) : 123456



記入日: 2025 年 4 月 1 日

氏名: 四国 太郎

1. 下記の該当する症状に☑を記入してください

重症筋無力症・筋炎

- ☐ まぶたが下がってくる
☐ 物が二重に見える
☐ 筋肉痛がある

1型糖尿病

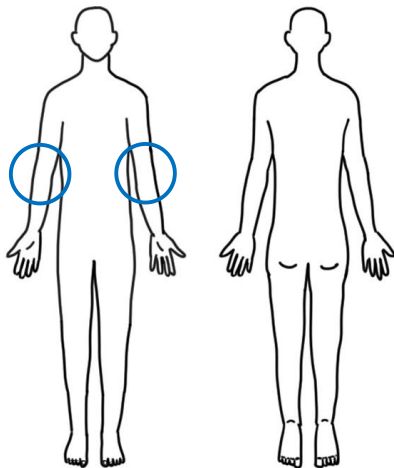
- ☐ 喉がひどく渇く ※ 1
☐ 尿の回数が増える

大腸炎・下痢

- ☐ 下痢が続く
☐ 便に血が混じる

間質性肺炎/心筋炎

- ☒ 息苦しい
☐ 動悸がする
☐ 咳が増えた
☐ 37.5℃以上の発熱 ※ 2

症状がある部位に
○を記入してください

正面

背面

内分泌障害

- ☐ 体がだるい
☐ 食欲が落ちる
☐ 吐き気が続く

皮膚障害

- ☒ 発疹がある
☒ 皮膚に痒みがある

神経障害

- ☒ 手足のしびれがある
☐ 力の入りにくさを感じる

静脈血栓塞栓症

- ☐ 足にむくみや腫れがある

2. 各症状について、下記の該当する状況すべてに☑をしてください

(退院後～当院受診まで/前回受診～今回受診までの体調をお答えください)

症状	グレード	0	1	2	3
対処			症状が辛い場合は 病院に相談しましょう	症状が2-3日続く場合 速やかに病院へ 連絡しましょう	速やかに病院へ 連絡しましょう
呼吸困難 (息苦しい)	☐ ない	☐ 階段や坂道を登る際に 息切れがある	☒ ゆっくり歩行した際に息切れ はあるが、日常生活はできる	☐ 息切れのため、身の回り のこともできない	
倦怠感 (体のだるさ)	☒ ない	☐ 急にだるさが出てきたが 休むと回復する	☐ 急にだるさが出てきて 持続するが日常生活はできる	☐ 急にだるさが出てきて 身の回りのこともできない	
食欲不振	☐ ない	☐ 食欲低下を感じるが 食事は変わらない	☒ 食欲低下を感じ、食事が 減った	☐ ほとんど食べられない	
嘔吐	☒ ない	☐ 1日1-2回吐く	☐ 1日3-5回吐く	☐ 1日6回以上吐く	
下痢	☒ ない	☐ 普段と比べて、1日1-3回 下痢が増えた	☐ 普段と比べて、1日4-6回 下痢が増えた	☐ 普段と比べて、1日7回 以上、下痢が増えた	
筋力低下 (力が入りにくい) (部位：)	☐ ない	☐ 明らかな筋力低下はないが 力の入りにくさを感じる	☒ 明らかな筋力低下はあるが 日常生活はできる	☐ 明らかな筋力低下のため 身の回りのこともできない	
※1 喉がひどく渇く	喉がひどく渇く状態が2日続く場合、速やかに病院へ連絡しましょう				
※2 発熱 (38.0℃以上)	38.0℃以上の発熱が2日続く場合、速やかに病院へ連絡しましょう				
その他の症状 (気になること等)	時々頭が痛い めまいがする				

次回入院で治療する場合は、病棟看護師または薬剤師にお渡しください
次回外来で治療する場合は、各診療科の受付にお渡しください



- ◆ 37.5℃を超える熱が出たとき
- ◆ 吐き気があり、水分・食事がほとんどとれない日が続くとき
- ◆ 体を起こすこともできないほどの強いだるさが続くとき
- ◆ 免疫チェックポイント阻害薬 副作用確認シートで病院に連絡する必要があるとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は
がん相談支援センターにご連絡ください

◆ 四国がんセンターの連絡先 ◆

【平日】 8:30～17:15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更
【平日】 13:00～17:00
四国がんセンター 予約センター
(直通番号) 089-999-1112



ICI 単独療法（泌尿器科）
ニボルマブ（オプジーボ）療法を受けられる方へ